

■令和7年度第3回会津美里町本郷地域まちなか賑わい創出協議会 開催記録

日 時:令和7年11月12日(水)18時30分～20時30分

場 所:本郷生涯学習センター 研修室

出席者:10名／18名、オブザーバー1名

事務局:4名 委託事業者:2名

(開会前)

本協議会に興味があるとのことで、オブザーバーとしての協議会参加申込があったことから、オブザーバー1名が第3回協議会のみ参加しました。

1. 開会

2. 委員長挨拶

3. 報告事項

「第2回協議会の振り返り」及び「ワークショップ及び住民アンケート結果」についてそれぞれ事務局より報告しました。

○委員長

「第2回協議会の振り返り」について例えば、私の意見が反映されていないですとか、「ワークショップ及び住民アンケート結果」について、私は参加していないため、こういったところはどうだったか、など皆さん何か意見はありますか。

○H 委員

ワークショップ及び住民アンケート結果について、M 委員より意見や質問を預かってきましたので代読します。M 委員は開催場所付近に自宅があり、始まってすぐに参加したが、参加者のほとんどが関係者のように感じた。そういった意味で多様な意見を収集できたかは疑問がある。とのこと。

○事務局

M 委員が参加されたのは開催してすぐの18時頃でした。ワークショップ全体を通して関係者の参加が多かったのは事実です。一方で、M 委員が会場を去った後に、地域住民で高齢の方やお子さん連れの方などが参加された。老若男女の意見を聞き取った状況である。

○委員長

本事業は社会実験であり、マーケティングという意味合いが大きいと思います。私も参加できず、代理に出席を依頼しましたが、参加者が多くなるよう考える必要があったと思います。

○事務局

今回は事務局が中心となりワークショップを開催しましたが、次年度では実証実験等を行う計画であるため、皆さんの意見や協力をお願いいたします。

○委員長

他に意見や質問はありますか。無いようですので、次の協議に進めます。

4. 協議

(1)本郷地域まちなか賑わい創出基本計画(案)について

○委員長

まず、事務局より説明を求めます。

○事務局

①はじめに

計画書(案)としてご説明します。最終的には冊子になる予定です。「はじめに」ということで、本計画の背景と目的を記載してあります。これは、皆さんに第1回協議会からいろいろとお話いただいていたことを含めて記載してあります。

②CHAPTER 1

次に「CHAPTER 1」ということで、本計画を本郷地域以外の方にも手に取ってもらうことを想定し、本郷のまちなかの概要を記載してあります。これまでの取組につきましては、皆さんが今までにいろいろなイベントや取組を実施してきましたので、その一部を紹介しております。

③CHAPTER 2

次に「CHAPTER 2」ということで、こちらはまちなか再生に向けてということで、2回の協議会やあやめ祭り・せと市でのアンケート調査、住民アンケート、ワークショップの結果をまとめた内容であり、第3回のまとめも載せてまいります。

④CHAPTER 3

次の「CHAPTER 3」はこれからのアクションについてです。3つの基本方針があり、それぞれに具体的な事業を記してあります。皆さんの意見を踏まえ修正をしたいと思います。まず基本方針Ⅰです。本郷地域の1番力を入れたいということで、東北最古の焼き物の町にむけたまちづくりについてです。これは観光客や、PRのためというものだけではありません。本郷地域の方、住民の方々が誇りに思う焼き物を目指すといった内容です。

次に重点事業の説明です。

⑤重点事業Ⅰ

「重点事業Ⅰ-1. 本郷焼でつなぐ、灯とサインのみちづくりプロジェクト」

Ⅰ-1は酔月窯さんでのワークショップ時に行った内容を中心に記載してあります。灯りがあると、たまたま通りかかった方が何だろうって来てくれるということがとても大きい

なということもあり、灯りで本郷の街中をつないでいけばいいのではないかというところが I-1 でございます

イベントのときだけでなく、常設できたらいいのではないかというところが I-1 でございます。

「重点事業 I-2. みんなで作ろう！町中に本郷焼いっぱいプロジェクト」

これは窯元さんだけでなく、住民の方も一緒に取り組む事業でございます。住民の家の入口や商店の前にちょっとずつ置いていく。住民の皆さん 1 人 1 人の小さな動きで、まちを変えていくというところが事業イメージです。もう 1 つは本郷焼のまちに来たなといった象徴的な何かを作りたいといった事業でございます。

「重点事業 I-3. セと市プロジェクト」

皆さんの関心が多かった内容でして、瀬戸町通りに戻すといった取り組みです。窯元体験、焼き物体験等を組み合わせながら、各窯元に足を運んでもらうこと、向羽黒山城跡に関心を持ってもらうこと等を目指す取り組みです。

「事業 I-4. 住みたくなる・出店したくなるまちなみづくり」

こちらは協議会で空き家・空き店舗に住みたい、出店したいというような町になっていくことが必要ではないかというご意見があり、まちなみづくりの取り組みについてです。N 委員からいただいた候補物件を具体的に書き込んでおります。計画に具体的な箇所を入れることはどうかといったところはあるのですが、具体的な箇所を入れることで動き早くなるということがございます。

ここを入れた方がいいのではないか。ここは入れない方がいいのではないかといった皆さんの意見を踏まえ修正をまいります。

基本方針 I は以上です。

○委員長

ここで一旦皆さんの意見を伺います。CHAPTER 1、CHAPTER 2 を含めてご意見をお願いします。

○K 委員

CHAPTER 1 のまちなかの特徴においてのぼり窯の写真を挿入してほしい。

○事務局

対応いたします。

○G 委員

「事業 I-1. 本郷焼でつなぐ、灯とサインのみちづくりプロジェクト」の酔月窯のナイトバルの写真が、インパクトが欠けているので変えた方がよいと思います。

○事務局

変更いたします。

○B 委員

「重点事業 I-2. みんなで作ろう！町中に本郷焼いっぱいプロジェクト」で何をつくっていくかはこれから詰めることだと思います。何を作るかは、統一感であったり、デザイン性をきちんと考えていくべきだと思います。

○事務局

そういった具体的なビジョンは今後検討できればと思っています。

○委員長

B 委員がおっしゃった何を作るのかといったところですが、事業イメージを見るとオブジェを作っていくと捉えられると思います。オブジェを作るという計画であればこのままでいいと思いますが、どうでしょうか。

○事務局

オブジェを作りたいといったものではなく、住民の方が作っているといった、住民が参加する事業のイメージとして写真を掲載しました。オブジェを作るといった意図はないため、誤解されないよう写真や表現を修正します。

○J 委員

全体を通していえることだが、書き方だとは思いますが計画なので、事例のような事業イメージは不要だと思います。

○委員長

基本計画であるため、固執されるようなイメージはない方がよいのではないかとといった意見でしたが、どうでしょうか。

○事務局

どういったことをやりたいか、どういったものを作りたいかは議論を深める必要があると思います。ですが、文言だけですと、協議会の委員はわかりますが、ここに参加していない方は、なかなかわかりづらいというところで、事例として記載したものでございます。

○委員長

学識経験者として A 委員はどのように思われますか。

○A 委員

この計画の策定に携わっていない方もご覧になることを考えると、私個人の意見ですがイメージはあったほうがわかりやすいと思います。

○委員長

ありがとうございます。委員の色々な意見があるということで、事務局で検討いただければと思います。他に意見はありますか。

○K 委員

B 委員の質問でもありましたが、「重点事業 I-2. みんなで作ろう！町中に本郷焼いっぱい

いプロジェクト」で何を作るかはこれから決めていくとお聞きしたが、「本郷焼の発祥でもある「鬼瓦」をモチーフとした置物を窯元や住民により制作し、まちなかに点在させる」と記載があるが、これはすでに決まったことという認識でよいでしょうか。

○事務局

これから決めていくということであり、「鬼瓦など」といった表現に修正します。

○委員長

他に意見はありますか。

○H 委員

「重点事業Ⅰ-1. 本郷焼でつなぐ、灯とサインのみちづくりプロジェクト」で本郷焼ナイトバルの実施と記載があるが誰が取り組むのかを明確にしたほうがよいと思います。ナイトバルはM 委員がマチミセマルシェでやられたことかと思いますが、そういった方を主役としてサポートしますといったことなのかを明確にしたほうがよいと思います。本日は欠席しておりますがM 委員からも聞いていないとの発言があり、関係者を巻き込みたい気持ちはわかりますが、よくないイメージになる可能性があると思います。

もちろん町の事なのでみんなで頑張っていくという前提はわかっておりますが、誰が主体的にやるかは、今の段階から考えるべきだと思います。

○事務局

最後のページをご覧ください。まちなかの未来に向けてということで、国土交通省の官民連携まちなか再生推進事業についてです。これは町である官公庁や、地域の皆さん、民間企業等が連携してまちづくりをする事業でございます。本郷地域まちなか賑わい創出協議会は令和8年度も継続させていただき、将来的にこの基本計画を実施していく団体になっていただきたいと考えております。

この基本計画は皆さんの意見を踏まえた基本計画ですので、役場が押し付けるのではなく、自分たちでやってよかったと思える事業ができるよう、H 委員が指摘されたような具体的な協議を来年できればと考えております。

あくまで計画でございますが、5の事業スキームに主な担当として、1つの案として、関わりがあるのではないかとということで、記載がございます。

○委員長

町の計画であるため、町がすべてやるものだと思える住民の方もいるかもしれませんので、誰がやるのかといった記載はあった方がわかりやすいと思います。

他にご意見はありますか。

○K 委員

陶板サインが唐突にでてきた印象がある。アンケート調査では住民の皆さんが夜のまちなかに関心が高かったと記載があるが、私自身はそうは思わない。夜のまちなかの賑わいについて考える必要はあるのか。

○事務局

第2回の協議会でご説明しましたが、焼き物のまちで焼物を入れた陶板サインを作りたいといった業者さんからの提案があり実証実験を行いました。また、住民アンケートはまちなかに住んでいる方の意見を聞きたいといった思いがあり、実施しました。高齢の方が来場された際には、まちなかは暗いので、灯りがあるのはいいね、といった意見があったところです。

○委員長

本日参加のオブザーバーの方はワークショップに参加したとお聞きしております。陶板サインについてご意見ありますか。

○オブザーバー

私は窯元の1人ですが、技術的にはいろいろ考えないと陶板サインの製作は厳しいと感じています。ただ、まったくできないわけではないです。時間はかかると思います。

○委員長

ありがとうございます。桜のライトアップ事業などの実績のあるL委員は何か意見ありますか。

○L委員

まず陶器を使った事業というのは焼き物の町らしさがあって良いと思っています。陶板サインは自分の中でイメージができておらず、判断できないが、雪の対策が気になります。雪の中での灯りはすごくきれいなので、もし実行できれば素晴らしいと思います。行灯についても管理方法や破損した場合など実施する上で考えることはあると思うが、実施できたら、明るい街になると思います。

○委員長

1つの呼び水になれば素晴らしいですね。他にご意見はありますか。無いようですので重点事業Ⅱの説明をお願いします。

⑥重点事業Ⅱ

○事務局

重点事業Ⅱは暮らしを楽しくするまちづくりに関する事業です。本郷に暮らす人も訪れた人も、本郷で楽しく過ごせるような、まちなかを目指すということであり、4つの重点事業を挙げております。

次に重点事業の説明です。

「重点事業Ⅱ-1. 本郷の「食」発掘プロジェクト」

協議会やアンケートからも「観光に来た人が食事をする場所が不足している」「もっと本郷の美味しいものを売り出したい」といった意見が多くみられることから、食べ歩きフードの開発やチャレンジキッチンの設置による新たな飲食店の開業支援を行うプロジェクトです。

「重点事業Ⅱ-2. まちなか周遊憩いの場づくりプロジェクト」

旧本郷第一小学校跡地公園整備計画事業が地域活性化の拠点になることを目的としていることから、整合性や連携を図り、賑わいつくりを進めるものでございます。本プロジェクトに本郷のまちなかに点在するポケットパークや水路の活用を含めております。

「重点事業Ⅱ-3.なんて素敵なまちなんだ！再認識プロジェクト」

これは協議会での意見で、昔は日常の暮らしに本郷焼があったとの意見等から本郷焼を取り入れた暮らしの普及にむけた事業や本郷に滞在して過ごしてもらうための宿泊事業を展開していきたいといったものでございます。

「重点事業Ⅱ-4.向羽黒山城もすごいぞ！プロジェクト」

第2回協議会にてご説明した内容です。「向羽黒山城整備資料室」が解体する見込みあることから、「本郷インフォメーションセンター」「窯の美里いわたて」を含めて全体の活用を進めるものです。関係者で協議することとなっており、向羽黒山城の展示や重点事業Ⅱ-1のチャレンジキッチンの実施場所として整備を計画するものです。

基本方針Ⅱは以上です。

○委員長

基本方針Ⅱにつきまして皆さんの意見を伺います。

○G 委員

チャレンジキッチンのイメージはここを利用してちょっとやってみるといったイメージでいいですか。

○事務局

おっしゃるとおりです。また、同じ方がずっと営業するというのではなく、将来的には空き店舗で営業していただける方に活用いただくなど、条件をつけることも検討しております。

○G 委員

COBACO さんも同じような事業をやっているとイメージがありますが、差別化はありますか。

○事務局

COBACO さんでは菓子製造の許可を取っていると伺っております。今回のチャレンジキッチンでは総菜やお弁当の製造を想定しており、差別化は行っていきたいと考えております。

○委員長

他にご意見がありますか。

○K 委員

何年も前であるが、本郷の名物にしようということで「つめっこやき」というお焼きが売られていた記憶があります。そういった事業も素晴らしいと思います。

○委員長

本郷の一部の事業者さんで今でも作っているそうですが、人手もなく、なかなか難しい

という現状は聞いております。復刻といたしますか、そういった事業もいいですね。

その他意見はありますか。

○H 委員

Ⅱ-3 の事業は民泊なので事業スキームに事業主体に商工会が入っていることに違和感があります。Ⅱ-4 についても町だけではないと思いますがどうでしょうか。

○委員長

ここは再度検討をお願いします。Ⅱ-4 の事業について観光協会さんは意見ありますか。

○E 委員

いわたてさんと本郷インフォメーションセンターは隣合わせの施設であり、関係者で検討し、計画案として提案している状況です。焼物の活用もそうですが、抹茶の提供など検討しています。最近はインバウンド等で、自分で抹茶を点てて飲むといった取り組みがあるので実施したら面白いのではないかと考えています。

○K 委員

本郷焼の茶器等をもっともっと宣伝してほしい。大きい茶わんでお茶を回して飲んでいた。そういった事業でお茶点てをする文化があったら楽しいと思います。

○事務局

今のお話はⅡ-3 につながる事業かと思います。

○委員長

その他意見ありますか。無いようですので重点事業Ⅲの説明をお願いします。

⑦重点事業Ⅲ

○事務局

重点事業Ⅲは広くつながっていくまちづくりに関する事業です。第1回、第2回の協議会の時でも、例えば会津若松で本郷焼の出店したところ、本郷焼について知らないという声があり、驚いたというようにお話がございましたし、大内宿の人も知らないといった意見もございました。改めて情報発信を強化し、つながりをつくり、住民や訪れる人が一体となってにぎわいつくりをしましょうという内容でございます。

「重点事業Ⅲ-1. 本郷の魅力を伝えるプロジェクト」

外国人観光客への対応や「東北最古の焼き物の町」をPRしていくものでございます。なお、事業イメージのQRコードですがまちなかを歩く用途として記載してあります。まずは窯元さんと協力しながら窯元さんの説明を含めて整えられればと思っております。

「重点事業Ⅲ-2 只見線や周辺観光と連携した、まちなか誘導プロジェクト」

前回の協議会で話題となった会津本郷駅舎に関する取り組みトクトクの活用について記載してあります。

基本方針Ⅲは以上です。

○委員長

基本方針Ⅲにつきまして皆さんの意見を伺います。情報発信は観光協会さん既に行っているかと思いますが、何か意見ありますか。

○E 委員

インスタグラムを中心に会津美里町全体の情報発信をしている状況です。

○委員長

新たに本郷に特化して情報発信をするイメージですか。

○事務局

エリアプラットフォームによる新たな情報発信を想定しております。

○H 委員

SNS による発信は既に各事業者が取り組んでおり、改めて実施する利点が不明確です。エリアプラットフォームがどのようにバックアップできるかは検討が必要だと思います。

QRコードは管理者が必要なのではないですか。

○委員長

QRコードは導入時点では町が管理すればよいのではないかと考えます。

○H 委員

やはり誰がやるのかは大事な部分であると感じます。

○委員長

重点事業Ⅲ-2 について I 委員はよく町内を散歩されていますが、駅からまちなかへの誘導についてご意見ありますか。例えば駅からまちなかへは距離があるのではないかなど。

○I 委員

距離については気にならないですが、殺風景と感じます。昔は桜並木がありましたね。

○委員長

観光客は歩くのは苦ではないと思いますので、只見線との連携による賑わいつくりは考えられる施策かと思います。

○H 委員

実際、観光客の方は駅から歩いており、外国人の方もいらっしゃっています。観光客の方は駅から歩く前提できていると思いますが、トゥクトゥクが使えるとわかっていれば、使う方もいると思います。

○G 委員

桜並木がなくなったのは何か原因があるのでしょうか。

○H 委員

農業関係だと思います。桜の木は虫がつくため。

○E 委員

また、のり面が壊れてしまう問題があったそうです。根っこがどんどん広がって。そういった問題で桜の木を切ったと伺ったことがあります。

○事務局

喜多方市のしだれ桜も同様の問題を抱えている。虫とのり面の問題でなかなか設置の許可が難しいです。一方で許可が取れるとその桜の木に、自身の名前を付けられる権利があり、1本十万円以上とお聞きしているが、申し込みがあるという状況です。名前を残したいという願望がある方がけっこういらっしゃるのだと思います。本郷焼のプレートに名前を入れて路面に埋めますといった事業をやると需要があるかもしれません。

○委員長

他にご意見がありますか。

○J 委員

重点事業全体に言えることですが、事例集のように見えてしまいます。もちろん基本計画のため、概略的な計画であり、具体的に何をするかは次年度以降であることは十分わかっていますが、もう少し本郷バージョンで記載することは難しいでしょうか。

○事務局

事業イメージの数の調整や事業スキームの大きさを変えるなど修正を加えたいと思います。また、H 委員のおっしゃるように、いつ、だれが、どのようにやるかを記載すると、より意見がしやすいところかと思いますが、それは次年度にできればと考えております。

当初の想定ではご提示した計画よりも、大枠を示した計画となる想定でございましたが、委員の皆さんから活発な意見が出たことから、より踏み込んだ計画になったため、具体性が欲しくなるワンステップ上の計画になったところでございます。

○委員長

他にご意見がありますか。改めて重点事業Ⅲだけでなく、全体を通して、ここまでで何かご意見ありますか。無いようですので残りのページについて事務局より説明願います。

○事務局

事務局より「事業スケジュール」「事業の展開シナリオ・スケジュール」「参考編」の説明を行った。

○委員長

説明が終わりましたが、皆さんから何か意見はありますか。

○H 委員

短期、中期、長期とありますが全体的には何年の計画と考えればいいでしょうか。

○事務局

10 年を想定しております。

○H 委員

令和 8 年度の官民連携まちなか再生推進事業は町で申請するという認識でいいか。また、順調にいけば交付金の承認はいつ頃わかるのか。

○事務局

申請は町で行います。また、交付金の承認は 4 月の上旬にはわかると思います。

○H 委員

エリアプラットフォームは町が立ち上げるという認識でよいか。

○事務局

お見込みの通りです。次年度はエリアプラットフォームの設立に向けて、本計画に記載した事業を社会実験として実施し、具体的にどのような内容であればメンバーで実行できるかを検討し、エリアプラットフォームと未来ビジョン策定につなげたいと考えております。計画に載せてある事業はイメージですので、地域の活性化や賑わうにはどうすればいいかという感覚で難しく考えず、これをやってみようと地域の様々な方が関係するエリアプラットフォームになることを目指します。まずは来年度も本郷地域まちなか賑わい創出協議会を継続し、できれば協議会の委員が核となったエリアプラットフォームの設立を目指してまいります。

○委員長

まちなか賑わい創出協議会はエリアプラットフォームができたその後はどうなるのか。役目を終えて、令和9年度以降はなくなるという理解でよいか。

○事務局

お見込みの通りです。

○委員長

その他ご意見ありますか。今後パブリックコメントをし、最終的には2月にもう一度協議会がありますので、次年度以降についてはそこでご意見いただければと思います。今日以降計画について意見がある方はできれば11月中に随時町へ出してください。それでは総括をお願いします。

(2)総括

○A 委員

だいぶ具体的でわかりやすい計画になったと思います。基本計画としつつ具体的な計画となったことで、だれがやるのかといった部分の意見が多かったと思われます。あくまで基本計画ですので、今後さらに議論し、何をするかによって実施主体は変わるものではありますが、次年度は関係者への根回しを同時に行うことでスムーズな議論になるかと思います。

○委員長

それでは最後に今後の予定を事務局より説明してください。

(3)今後の予定

事務局より再度事業スケジュール沿って今後のスケジュールを説明した。

5. その他

6. 閉会

以上